

全4回



オーダーメイド歯科医療の臨床技工学コース

— 力学と生理学から見た 歯冠修復学・
部分床義歯学・総義歯学を考慮した咬合学 —



日々多忙な歯科医師、歯科技工士の皆様がより徹底した歯科技工学を習得し、
日常の臨床技工に活用していただくためのコースとなります。
臨床技工をなんとなくの経験則で行うのではなく、よりエビデンスに則った形
で行えるように学習していきます。

各会場

- 第1回 白水貿易(株) 札幌営業所
- 第2回 〒064-0824 札幌市中央区北4条西20-2-1 Nord 420BLD 1階
- 第3回 (株) T.A.C dent field
- 第4回 〒062-0632 北海道札幌市豊平区平岸2条3丁目6-30

参加費

歯科医師： **¥110,000 × 全4回** (消費税込・分割可)
歯科技工士： **¥55,000 × 全4回** ※他必要材料は別途かかることが有ります

定員
10名

日程

- 第1回目 2023年 9月23日(土)・24日(日)
 - 第2回目 2023年 10月28日(土)・29日(日)
 - 第3回目 2023年 11月11日(土)・12日(日)
 - 第4回目 2023年 12月9日(土)・10日(日)
- 土曜日：10:00～18:00 / 日曜日：9:00～16:00

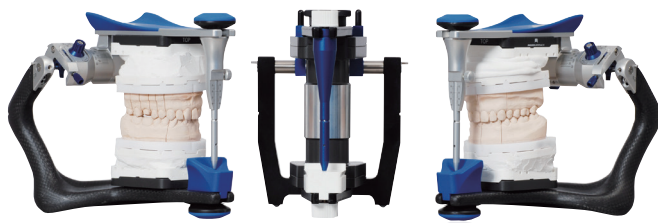
講師

佐藤 幸司 先生

略歴

佐藤補綴研究室

- 1950年 大分県出身
- 1975年 大分県歯科技術専門学校卒業
- 1990年 (名古屋市立大学医学部第一解剖学教室研究員)
- 明倫短期大学臨床教授
- 神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 全身管理歯科学講座
- 顎咬合機能回復補綴医学分野 非常勤講師など歴任



お申込方法 参加申込書にご記入の上、下記宛にメールもしくはFAXにてお申し込みください。

お振込先 北洋銀行 新琴似支店 口座番号 7200084 合同会社インブルー 代表 窪ノ内 皓

恐れ入りますが、研修日1週間前迄にお振込ください。尚、振込手数料は各自でご負担ください。

お申込 FAX.0133-63-8299
MAIL. kubonouchi.improve@gmail.com

お問合せ 合同会社 Improve
TEL.0133-63-8299

窪之内 皓

合同会社インブルー 窪ノ内行

オーダーメイド歯科医療の臨床技工学コース

参加申込書

2023年～2024年

— 力学と生理学から見た 歯冠修復学・部分床義歯学・総義歯学を考慮した咬合学 —

(フリガナ)
お名前：

歯科医師 歯科技工士 勤務先：

所在地：〒

TEL ()

携帯 ()

ご記入いただいたお申込み情報は個人情報保護法に準じ厳密に取り扱いたします

オーダーメイド歯科医療の臨床技工学コース

— 力学と生理学から見た 歯冠修復学・部分床義歯学・総義歯学を考慮した咬合学 —

講義 / 実習カリキュラム

土曜日：10:00～18:00 / 日曜日：9:00～16:00

第1回	令和5年(2023年) 9月23日(土)・24日(日)	臨床模型の解説
<ul style="list-style-type: none">① 印象面の考察(口腔内観察 印象方法等)② 診断模型の考察(模型観察)③ 機能模型の考察④ 個人トレーの考察⑤ 治療用義歯についての考察(調整の仕方・判断・本義歯への移行)⑥ ベースプレート機能的バイトリムの製作法(バイトの取り方)⑦ フェイスボウ ゴシックアーチ (目的・使用法・判断・臨床への活かし方)⑧ オルソ・セファロ・パントモ分析		
質疑応答・Discussion		

第3回	令和5年(2023年) 11月11日(土)・12日(日)	Partial Denture 無歯顎症例の (局部床義歯学) 咬合の選択
<ul style="list-style-type: none">① 局部床義歯学理論② パーシャルデンチャーの基礎と考察③ 臨床模型から力学的・生理学的な考察④ パーシャルデンチャーの各パーツの役目と目的⑤ 臨床模型の分析と考察⑥ ミリングテクニック⑦ パーシャルデンチャーの設計と咬合・セット時の調整⑧ 総義歯排列実習		
質疑応答・Discussion		

第2回	令和5年(2023年) 10月28日(土)・29日(日)	Crown & Bridge (歯冠修復学)
<ul style="list-style-type: none">① 歯冠修復学総論 / 各論② 咬合機能と歯冠形態を分析し生理学的・機能学的形態を論じ天然歯列の歯牙を考察する。③ 歯根膜の分析と数値化により、Cusp と Fossa の位置的關係及び中心咬合位(最大咬頭嵌合位)における対合歯咬合面との位置的關係を考察する。④ 下顎運動を再現と咬合器の考察を行う。 Semiaadjustable Articulator / Adjustable Articulator / Full Adjustable Articulator / 可動性 Plane line Articulator⑤ 咬合器の使用法とその特徴 臨床症例により咬合器の利点を生かした臨床テクニックと Adjust の仕方について考察する。⑥ 上下第一大臼歯の Wax アップから異なった臨床症例の顎運動記録を咬合器に再現する実習を行う。⑦ スプリント・ナイトガード(目的・使用法・分類・製作方法・咬合のさせ方)		
質疑応答・Discussion		

第4回	令和5年(2023年) 12月9日(土)・10日(日)	症例に適応した 機能・審美を考察 人工歯排列 した歯肉形成法
<ul style="list-style-type: none">① 総義歯の咬合理論と咬合様式② デンチャースペースコアを用いた排列法③ アーテックス咬合器・テンプレートを応用した排列法④ 生体に調和した形態学組織学⑤ 周囲筋肉に調和させた歯肉形成を機能的に考察 1～3級のポジション・被蓋 審美 平面の取り方・スビー・モンソンのつけ方 咬合接触のさせかた 前方・側方運動⑥ 実習 咬合調整⑦ 口腔内でのセット調整の仕方		
質疑応答・Discussion		

